

# 一般質問

## 津和野町地域防災計画の避難場所に関して



米澤 宏文 議員

◎避難場所の再調査と見直し  
米澤 現在の避難場所は約18年前に設定されたが、最近の想像を絶する集中豪雨や避難建物の老朽化や位置を考慮すると見直しの時期にきていると思われるがいかがか。私の調査では115力所の内、近くの側溝に蓋無し、川のそば、急傾斜地の下、橋有り等で不適40力所でした。

町長 指摘のように年数の経過した建物もあり既存の避難場所については点検、見直しを行い安全性の確保を図る。

問 洪水時橋を渡るのと蓋の無い側溝経由の避難は非常に危険、積極的な見直しを。

避難場所の表示無い所も多い。新規作成し表示しては。

昨年の新聞に県内5町被災時の非常食備蓄無しに津和野町あり、JAや商工会等と食糧提携締結はされているか。

100年に1回の確率で発生する「1日の総雨量265mm」超の大雨が津和野で降れば町中水浸し、ある程度の非常食備蓄は必要ではないか、比較的水

害が少ない隣山口市阿東地区と食糧提携を考慮しては。

町長 避難場所表示は今後付きたい。非常食現在備蓄無し、災害時県の提供とキヌヤと協定、阿東地区も考慮する。

### ◎町独自の避難計画の作成

問 町内約3千6百戸の戸別の避難計画作成を町全域に分散し、最大の組織力と行動力を持つ消防団に火災予防運動に併せ依頼してはどうか。

町長 各種災害に対応し個別の計画は難、地域で自主防災組織が結成され、行政機関と連携が最も有効な対策。

### ◎町道沿いの側溝に蓋を

問 災害時避難の安全と歩行安全、交通安全のため町道沿いの側溝に自治会等の希望アンケートをとり、蓋を設置してはどうか。側溝は道路に濁流が溢れて踏み込むと殺人凶器となる。

町長 アンケートは現時点考えなし、防災担当者と連携し建設課も地域実情把握に努める。

## 定住人口増加策



川田 剛 議員

川田 就任以来、町長は様々なアンケートで町民の意見を収集されてきた。今年で任期の半分が終えるという中で、人口増加策、定住策における具体的な施策と方針はあるのか。

町長 具体的には「仕事」の確保のために農業振興を行う。「直売所の環境を向上させる研修」など、新規事業を計画している。兼業が鍵を握るとの考えから、林業振興も行う。「環境保全支払制度モデル事業」等を計画している。また、定住フェアの参加や、ホームページなどを活用していく。

問 ①定住の条件付きで大学の授業料を無償化するなど、抜本的な定住策を提案する。②農業振興はよそでも実施しているが、本町の施策のメリットは何か。③空き家対策に町が携わってから現在まで何件の応募があったのか。④介護分野等で期待されるEPA

(経済連携協定) による外国人労働者の受け入れについて、本町はどう向き合っているのか。

町長 ①無償化にしても本場に帰ってくるのか、帰っても仕事があるのかわからない。②働く中で価値観を見出してもらいたい。③覚えている範囲で5件前後である。④これから制度の勉強をしていく。

### ◎積雪対策

問 積雪時の除雪の対応について、国・県・関係各機関との連携はどのようになっているのか。今後の課題、対策は検討されているのか。

町長 今年1月14日、初めて国交省の呼び掛けで「雪寒体制関係情報連絡会議」が開かれ、情報交換した。近年、除雪可能業者が激減し、今後作業が厳しくなっていくことが課題である。県と連携して、生活の安全安心を確保していかなければならないと考えている。

# 一般質問

## 計画は着実な実行を



青木 克 弥 議員

### ◎町長施政方針について

**青木** 基本的な方針は、昨年度の総括に基づいていると思うが、特に、行政評価制度の進捗状況はどうか。職員の意識はどの様に変ったのか、営業課、地域振興課、まちづくり政策課の新しい課の設置の効果についてどの様に評価しているのか。

**町長** 行財政改革を進める上での行政評価制度の導入は、事務事業の見直しをはじめ多くの行政上の評価に役立つものであり、着実に制度の構築に向けて進めている。職員の意識については、様々な振興計画や、町民意識調査の結果を踏まえ、それぞれの関係事務に関わるにより、変わりつつあると思う。三つの課の効果については、縦割り行政の弊害を解消していくための重要な役割をもつもので、課の連携がやや不明確な点もあると思うが、創造性に富んだ町づくりを進めていく上で、大きな働きをしていると自負している。2年目には更に充実していきたい。

**問** 今年の重点施策として定住対策、健康づくり、地産地消が上げられているが具体的な内容について問う。

**町長** 定住対策については、定住自立圏共生ビジョンの策定をし、働く場の確保として特に農業の振興を図りたい。また、少子化対策としての保育園の充実を図りたい。そのためにも一刻も早い集落の維持、活性化の取り組みを図りたい。健康づくりについては、医療との連携や、各種検診の推進が重要と考え、地域包括センターの充実を図りたい。地産地消については、直売所の販売促進をすすめ、地域における商店や観光関連業者との連携を深めるための取り組みを行う。併せて都会における有名な業者との取引を促進するための対策を強化することにより地産地消を進める。

## 行財政改革の検証と見直し



京村 まゆみ 議員

**京村** 新しい課と他の課の連携はうまくいっているのか。

**町長** 新しい課はこの1年官民協働の町づくりに重要な役割を担ってきた。課題解決の取り組みにも配慮していく。

**問** 課を細分化することと定員管理計画（正規職員削減）の整合性は。また計画の対象外である嘱託、臨時職員の削減状況は。

**町長** 今年1月現在嘱託職員、臨時職員、計90名である。短期的任用は制度に基づいた任用に努める。また、定員管理計画について139名となり計画通り進捗しているが、様々な状況が変化し合併後5年を経過し再検証を考えている。

**問** 第3セクターの見直しは。

**町長** 自治体が損失補償している施設について見直すようにとの総務省からの通達であったが、町内のそれぞれの3セク施設が黒字決算であることなどから見直しは進めていない。

**京村** 指定管理者制度導入の

実績と、現在直営施設のうち天文台、安野光雅美術館など管理の違う各施設の経営方針と制度導入の是非の検討は。

**町長** 天文台施設は文化学術施設で、採算性を求める施設でもなく、現在の直営方式による運営をしていく。天文台については周辺施設との兼ね合いから地域振興課の管轄になった。

**教育長** 指定管理制度導入の最初の時点で検討しているが、安野光雅美術館、森鷗外記念館、桑原史成写真美術館の3館についてはふさわしくないという結論から直営となっている。

**問** 文化施設である事と直営方式は関係ない。儲けを追及する施設として指定管理導入を進めるべき。教育施設ならばもっと町民利便を図るべき。

**教育長** 必ずしも指定管理にしないで営業努力はしている。町民バスポートなども今は検討する。

経済常任委員会請願審査報告

木曽野向線町道の舗装工事について

1. 審査事件

本請願は、木曽野地区の生活道路として木曽野線を利用して  
いるが、この路線は急勾配で日  
陰地にあり、十分な除雪が出来  
ず残雪が凍結し、大変危険な道  
路となります。そこで、中組地  
区内にある町道木曽野向線全長  
1、412m、幅員4.0mの内、  
未舗装区間1、297mを早期  
に舗装工事をしていただきたい  
との趣旨で提出されたものであ  
る。

2. 審査結果

木曽野地区住民が現在、生活  
道路として利用している町道木  
曽野線は、道路勾配がきつく、  
冬季における積雪や路面凍結に  
より車両等の通行に支障をきた  
している。これに比べ、日当た  
りも良く、平坦地で線形の良い  
木曽野向線を、地元住民は多く  
利用しているのが現状である。  
以上、本委員会は、全員賛成

で本請願を採択すべきと決し  
た。

〈意見〉

本路線は、終点部分の140m  
(未改良部分)が幅員1.5m以内  
のため、車両の通行はされてお  
らず、接続の県河川管理道の一  
部を通行使用しているのが現状  
である。この様なことから、町  
道の路線変更等も含め県と協議  
されたい。



▲4月1日 堀庭園

島根県町村議会議長会定期総会



自治功労者表彰

平成23年2月9日に以下の方々が表彰されました。(敬称略)

■全国町村議会議長会長表彰の自治功労者

|               |              |       |
|---------------|--------------|-------|
| 議員特別表彰        | 前県町村議会議長会副会長 | 後山 幸次 |
| 議員表彰(在職15年以上) | 前議員          | 原 秀   |

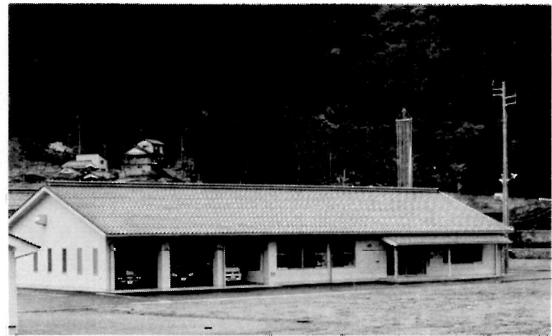
■島根県町村議会議長会長表彰の自治功労者

|                 |     |        |
|-----------------|-----|--------|
| 長期特別表彰(在職25年以上) | 前議員 | 藤井 貴久男 |
| 議員表彰(在職12年以上)   | 議員  | 斎藤 和巳  |

## 3月定例会に提出された議案と結果

### 【3月15日 定例会】

- ・ なごみの里木質ボイラー設置工事請負変更契約の締結（全員賛成）  
 変更の金額 78,722,700円 変更前の金額 78,225,000円 変更額 497,700円  
 契約の相手方 東洋熱工業株式会社 山口営業所（山口県岩国市）
- ・ 森村地区下水道管布設工事請負契約の締結（全員賛成）  
 契約の金額 72,357,600円 変更前の金額 68,986,050円 変更額 3,371,550円  
 契約の相手方 有限会社ナガヨシ技建（津和野町高峯）
- ・ 日原青少年育成協議会の設置に関する条例の廃止（全員賛成）
- ・ 津和野町営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正（全員賛成）
- ・ 須川運動場の設置及び管理に関する条例の制定（全員賛成）
- ・ 国指定名勝「旧堀庭園」の設置及び管理に関する条例の一部改正（全員賛成）
- ・ 町道日原添谷線2号の路線認定（全員賛成）
- ・ 町道下中島線の路線認定（全員賛成）
- ・ 町道昭和隧道線の路線認定（全員賛成）
- ・ 町道成日照線の路線認定の変更（全員賛成）
- ・ 町道日原添谷線の路線認定の変更（全員賛成）
- ・ 町道田平線の路線認定の変更（全員賛成）
- ・ 町道鳥居線の路線認定の変更（全員賛成）
- ・ 町道新ヶ原線の路線認定の変更（全員賛成）
- ・ 津和野町一般会計補正予算 第5号（全員賛成）
- ・ 津和野町国民健康保険特別会計補正予算 第4号（全員賛成）
- ・ 津和野町介護保険特別会計補正予算 第4号（全員賛成）
- ・ 津和野町後期高齢者医療特別会計補正予算 第3号（3月SLマラソン）（賛成14・反対1 竹内）
- ・ 津和野町簡易水道事業特別会計補正予算 第5号（全員賛成）
- ・ 津和野町奨学基金特別会計補正予算 第2号（全員賛成）
- ・ 津和野町診療所特別会計補正予算 第2号（全員賛成）
- ・ 津和野町介護老人保健施設事業特別会計補正予算 第2号（全員賛成）
- ・ 津和野町病院事業会計補正予算（全員賛成）



▲ 3月 完成した日原消防センター

### 【3月31日 定例会】

賛否の分かれた議案・請願の採決・採択状況

| ○=賛成 ×=反対 欠=欠席                                      | ①<br>京<br>村 | ②<br>村<br>上 | ③<br>板<br>垣 | ④<br>竹<br>内 | ⑤<br>道<br>信 | ⑥<br>岡<br>田 | ⑦<br>三<br>浦 | ⑧<br>青<br>木 | ⑨<br>斎<br>藤 | ⑩<br>河<br>田 | ⑪<br>川<br>田 | ⑫<br>小<br>松 | ⑬<br>米<br>澤 | ⑭<br>後<br>山 | ⑮<br>沖<br>田 | 結果  |
|-----------------------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 津和野町議会の議決すべき事件を定める条例の制定                             | ○           | ○           | ○           | ×           | ×           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | 可決  |
| 津和野町後期高齢者医療特別会計予算                                   | ○           | ○           | ○           | ×           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | 可決  |
| 津 和 野 町 一 般 会 計 予 算                                 | ×           | ○           | ○           | ×           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | 可決  |
| 津和野町国民健康保険特別会計予算                                    | ○           | ○           | ○           | ×           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | 可決  |
| 津和野町後期高齢者医療特別会計予算第4号                                | ○           | ○           | ○           | ×           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | ○           | 可決  |
| 年金引下げ（案）の撤回、無年金者・低年金者への生活支援金の緊急支給と年金受給資格期間の短縮を求める請願 | ×           | ○           | ×           | ○           | ×           | ×           | ×           | ×           | ×           | ×           | ○           | ×           | ×           | ×           | ×           | 不採択 |

※**主な意見** ・ 東日本大震災が起こった状況の中で、1,000万人にのぼる無年金者・低年金者への生活支援金、月額3,300億円の支給が可能でしょうか。・ 年金を支払って来た者との不平等を感じる。

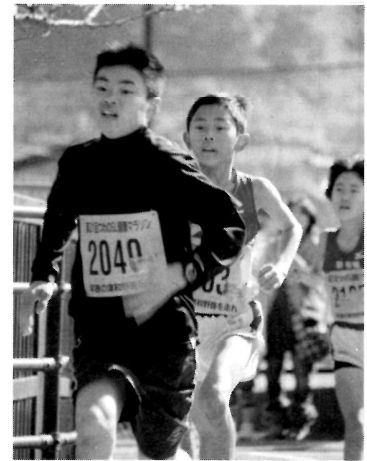
- ・津和野町介護事業者処遇改善臨時特例基金条例の廃止（全員賛成）
- ・津和野町一般会計補正予算 第6号（全員賛成）
- ・津和野町国民健康保険特別会計補正予算 第5号（全員賛成）
- ・津和野町簡易水道事業特別会計補正予算 第6号（全員賛成）
- ・津和野町下水道事業特別会計補正予算 第4号（全員賛成）
- ・津和野町奨学基金特別会計補正予算 第3号（全員賛成）
- ・津和野町電気通信事業特別会計補正予算 第4号（全員賛成）
- ・津和野町介護老人保健施設事業特別会計補正予算 第3号（全員賛成）
- ・津和野町病院事業会計補正予算 第5号（全員賛成）
- ・新地方公会計財務4表の報告

資産合計 486億円 負債の部 212億円 純資産の部274億円

町民一人あたりの資産は、555万円 町民一人あたりの負債は、217万円

町民一人あたりの行政サービスコストは、83万円

- ・津和野町非常勤職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正（全員賛成）
- ・津和野町長及び副町長の諸給与条例の一部改正（全員賛成）
- ・町長等の給与の特例に関する条例の一部改正（全員賛成）**報酬の15%カット**
- ・津和野町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正（全員賛成）
- ・教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部改正（全員賛成）**報酬の15%カット**
- ・津和野町職員の給与に関する条例の一部改正（全員賛成）**月額報酬額の3%カット**
- ・職員の給与の特例に関する条例の一部改正（全員賛成）
- ・津和野町ケーブル施設の設置及び管理に関する条例の制定（全員賛成）
- ・津和野町営バス運行に関する条例の一部改正（全員賛成）
- ・津和野町食と農のまちづくり条例の制定（全員賛成）
- ・津和野町枕瀬山森林公園の設置及び管理に関する条例の一部改正（全員賛成）
- ・津和野町道路占用料徴収条例の一部改正（全員賛成）
- ・津和野町簡易水道事業給水条例の一部改正について（全員賛成）
- ・津和野町介護保険特別会計予算（全員賛成）
- ・津和野町簡易水道事業特別会計予算（全員賛成）
- ・津和野町下水道事業特別会計予算（全員賛成）
- ・津和野町農業集落排水事業特別会計予算（全員賛成）
- ・津和野町電気通信事業特別会計予算（全員賛成）
- ・津和野町診療所特別会計予算（全員賛成）
- ・津和野町介護老人保健施設事業特別会計予算（全員賛成）
- ・津和野町病院事業会計予算（全員賛成）
- ・津和野町議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正（全員賛成）**月額報酬額の5%カット**



▲3月 SLマラソン



▲3月 須川小学校開校式

## ※請 願

- ・高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求める請願（全員賛成にて意見書を提出）
- ・経済常任委員会の請願審査報告（木曽野向線町道の舗装工事について）（全員賛成）

## 経済常任委員会所管事務調査報告書

### 【調査目的】

高津川での漁業の現状を把握し、漁業資源を活かした今後の津和野町の観光産業取り組みの判断材料とするため。

**（現況）** 高津川は、幹線流路延長が81kmで流域に一つもダムのない「日本一の清流」と称えられ、一級河川では全国でも水源が特定できる珍しい川の一つである。数年前までは、アユを獲って漁業を営む川漁師（組合員）が2千人以上いて、年平均漁獲量は115トンあり金額にして約3億円の水揚げがあった。

しかし、近年の猟場環境は様々な社会変化に伴い、人工的な構造物の設置や生活雑排水により流域の自然環境の荒廃が進み、天然遡上するアユも減少し、生産量も減少している。また、組合員も1,800人を割り込んでいる。

対策として、3年前から全国に先駆け100%の地場産アユを放流している。

**（事業方針）** 高津川流域の自然の恵み、豊かさを感じ取れる特産物の直売所を兼ねた、観光一体型の仮称「高津川清流館」博物館を建設する。

この「高津川清流館」は、高津川に生息する活きた淡水魚、甲殻類、水生植物、田んぼに生息する水生昆虫などを展示する。また、子どもたちが魚に直接触れ合う事の出来るコーナーや、流域の新鮮なアユ、川ガニ、うなぎ等の水産加工を展示販売するコーナーや、遊漁者をはじめ、観光に来られた方々に案内をするなどトータルインフォメーションの役割をもたせる。

高津川漁協産品を中心に有機農法による農産物や猪、地鶏、はまぐり等を、印加冷凍してから冷凍保存をすることにより、一年を通して美味しい商品を提供する。

**（まとめ）** 高津川漁業協同組合は、日原道の駅のシルク染め織り館への移転については、平成23年4月から、現在の日原支所を移転してスタートさせ、農水産物の加工や、特産品の開発にも力を入れる考えである。

また、特産品の販売等については、益田広域内にある7つの道の駅を中心に展開を考えており、拠点基地としての「高津川清流館」による高津川流域の活性化を目指している。

「高津川清流館」が立ち上がれば、観光産業と地域振興の発展にも寄与すると考えられる。計画推進の上からも、益田広域行政等からの支援が必要と考えられる。



◀ 高津川漁協への調査

### 編集後記

皆さんの家の近くに昔からの祠や、お地蔵様は有りませんか。

鷺原公園前の県道津和野田万川線の一角に3体のお地蔵様と祠の中に沢山の弘法様が合祀されています。昔から何の祠かな、と思っていました。ご近所に住む91歳のお婆ちゃんの話によると、昭和15年頃（70年前）公園前に県道を付ける時、鷺原八幡宮流鏝馬場の南の土手沿いの3か所に有ったお地蔵様と公園前の家で転居したり、後継ぎが居なくなつた等の理由で祭られていた弘法様が合祀されたものであり、毎年9月21日に公園前のご婦人が供養をしております。

県道が付く前は馬車道で、道幅は2.5m位、その当時の服装は男女とも着物、履物はわら草履だったとのこと。

祠やお地蔵様のいわれを、お年寄りから聞いて後世に語り伝えていきたい。

米澤 右文